

陳情第142号	受理年月日	平成28年3月17日
付託委員会	保健病院委員会	
陳情者	小倉南区徳力四丁目2-16 新日本婦人の会小倉南支部春日台班習字小组み 代表 江藤 恭子 (署名46件)	
件名	子供の通院医療費助成対象の拡大と自己負担の導入 中止について	
要旨	<p>私たちは、「子供の医療費助成は中学校3年生まで入院も通院も完全無料に」と繰り返し求めてきた。2016年度予算案において2016年10月から子供の医療費助成の拡充が図られ、入院費の自己負担は廃止、通院費の助成対象を小学校6年生まで広げ、あわせて所得制限をなくし現物給付とすることが提案されたことを歓迎する。</p> <p>しかし、通院費の助成対象を小学校6年生までとしたこと、また、自己負担を設けたことは残念である。特に、これまで無料であった3歳から小学校入学前の子供の通院費の自己負担を600円とし、小学生は1,200円とすることは、お金の心配をせずに病院に子供を連れて行くことができる安心を子育て世代から奪うことになる。</p> <p>近隣では、既に苅田町や行橋市で中学校3年生まで通院費・入院費ともに無料とし、遠賀4町でも福岡県の助成拡充にあわせ、対象を中学校3年生まで拡大するとしており、北九州市は子育て日本一を標ぼうしながら、県内でも取り組みの遅れた市になってしまう。</p> <p>については、次のとおり措置していただきたい。</p>	
	記	
	1 通院費の助成対象年齢を中学校3年生まで引き上げること。	
	2 自己負担をなくし完全無料にすること。	